

別記様式

議 事 録

会議の名称	令和元年度第2回岩倉市地域公共交通会議	
開催日時	令和2年1月29日(水) 午前10時から午前11時まで	
開催場所	岩倉市役所7階 第1委員会室	
出席者	中部大学教授 名鉄バス株式会社 名鉄西部交通株式会社 愛知県タクシー協会 名鉄西部交通労働組合 中部運輸局愛知運輸支局 愛知県振興部交通対策課 愛知県一宮建設事務所 江南警察署 区長会長 民生委員児童委員協議会代表 公募(市民委員登録制度) 岩倉市総務部長	磯部 友彦 吉岡 実 久留宮 優司 松浦 秀則 伊藤 孝 小川 賢二(代理:平井 早苗) 渡邊 重之(代理:石川 貴康) 吉澤 良一(代理:玄蕃 勝吾) 大矢 玄康(代理:小川 芳宏) 樋口 博明 河村 妙子 太田 勇喜夫 山田 日出雄
欠席者	愛知県バス協会 老人クラブ連合会代表	小林 裕之 赤堀 俊之
事務局	協働安全課長 協働安全課統括主査 協働安全課主任 協働安全課主事 秘書企画課長 秘書企画課主幹 秘書企画課主任	小松 浩 小崎 尚美 早川 雅史 桑野 侑樹 伊藤 新治 小出 健二 渡邊 拓己
会議の議題	・岩倉市デマンド型乗合タクシーの実績報告について ・岩倉市ふれ愛タクシー事業の実施状況について	
議事録の作成方法	<input checked="" type="checkbox"/> 要点筆記 <input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> その他	
記載内容の確認方法	<input checked="" type="checkbox"/> 会議の委員長の確認を得ている <input type="checkbox"/> 出席した委員全員の確認を得ている <input type="checkbox"/> その他()	
会議に提出された資料の名称	・次第 ・岩倉市地域公共交通会議委員名簿 ・岩倉市地域公共交通会議条例 ・デマンド型乗合タクシーの実績(令和元年9月まで)	

た案件は、依頼から概ね 10 分以内に迎えに行くことができおり、今の利用状況であれば、利用者に大きな迷惑をかけることはないが、利用が 2～3 倍になるとピーク時の対応は難しい。今後利用者も増えていくことが予想されるため、病院の午後診療の利用や買い物の利用を午後にしてもらう等、タクシーが比較的空いている午後の利用を周知していくなどの工夫も必要。

磯部会長：午後の買い物には特典がつく等、利用者や地域と協力して制度を上手く使えるようにできると良い。

石川代理：ふれ愛タクシー事業の効果検証として、ふれ愛タクシーからバスや鉄道への乗り換えがあったか、逆にこれまでバスや鉄道を利用していた市民がふれ愛タクシーに切り替えたか等を分析してもらいたい。

磯部会長：事業が始まったことで、市民の行動がどう変わったか把握することで見えてくるものがあるかもしれないが、こうした分析は難しいところもある。

事務局：どこで乗降車したかは把握できるので、バス停や岩倉駅以外の駅で降りたか等、出来る範囲での分析を進めたい。

吉岡委員：名鉄バスにとってどのような影響があるかを確認したが、事業開始から 3 か月のバス利用は全体では前年並みであった。最も影響が大きいバス停留所は岩倉団地で利用が前年の 93%となった。高齢者等が抵抗なく利用できる公共交通は必要であるので、今後もバス利用への影響を見守りたい。

平井代理：デマンド型乗合タクシーに比べて登録者数が減っているが、利用件数が伸びている要因は把握しているか。デマンドに登録して利用していなかった方が利用するようになったのか、これまでも利用していた方の頻度が増えたのか。

事務局：デマンドに登録をして利用してなかった方でふれ愛タクシーが便利になって利用し始めた方もいるが、新規で登録し、利用し始めた方もいる。

樋口委員：実利用人数と乗車人数の違いは何か。

事務局：乗車人数は一人が複数回利用しても利用毎に 1 人とカウントされ、実利用人数は同一人物が何回利用しても 1 人としかカウントされない。デマンドからふれ愛タクシーになったことで、実利用人数は 146 人から 278 人に増え、乗車人数は 604 人から 1,292 人に増えている。

太田委員：デマンドに比べて市が負担する経費は安くなっているのか。

事務局：ふれ愛タクシーは走行距離によって市が負担する経費が異なる制度だが、この 3 か月の集計だと 87%が利用額 400 円の運行なので現状の推移であればこれまでの予算の範囲内で実施できる。

太田委員：利用者が増え、必要な経費が減っているのであれば、事業形態の変更に至った当初の目的は達成しているのかと思う。今後は先ほど話題にもなっていたようにピーク時以外での利用を進めていくための方法を考えるべき。

事務局：今のところ予約が取れないといった声は聞いていないが、今後のためにも検討していくことは必要と考える。

磯部会長：次年度の予算はどうなるのか。

事務局：実施から3か月で登録者も利用者も伸びている状況なので必要な経費が予想しにくいこともあり、これまでのデマンド並みの予算を要求している。

樋口委員：乗降車が岩倉駅周辺の利用はどれくらいあるのか。そういった利用があまりないのであれば、名鉄バスさんと相談しながら乗降禁止区域の緩和も検討してもよいのではないか。

磯部会長：利用者の希望を含めてそうしたデータを集めていただきたい。ふれ愛タクシーは色々な面で今後も見守っていただきたい。

4 その他

磯部会長：自治体には地方分権によるそれぞれの運営が求められているが、公共交通は利用者が自治体のエリアを超えた利用もするので1つの自治体だけでは利用者ニーズに対応できないケースがある。広域的な公共交通のあり方を検討するにあたって愛知県として何か考えはあるか。

石川代理：愛知県としても、各自治体から広域的な運用に関して重要性は認識しており、要望があれば調整や支援をすることはできる。

上記のとおり、岩倉市地域公共交通会議の経過及びその結果を明確にするために、この会議録を作成し、ここに署名します。

令和2年3月31日

岩倉市地域公共交通会議

会長

磯部友彦

